



今年も観光大使がんばりました 訓中3年修学旅行 札幌で訓子府をPR

町は、今年も訓子府中学校の3年生56人を「訓子府町ふるさと特別大使」「訓子府町ふるさとPR委員」として8月22日に任命しました。

訓中が毎年修学旅行で実施している地域学習「訓子府町PR体験」を後押しするものです。大使には石岡沙倉さんが就き、全員で8月29日正午から1時間、札幌市の地下歩行空間（北3条）で、手作りのパンフレットを配布したほか、くんねっぷ音頭の踊りを披露するなど、訓子府町を大いにPRしました。

温水プール「KAPPA」 利用60万人に

札幌の阿部真大くん



温水プール「KAPPA」の利用者が、7月29日に平成7年の開館以来、60万人になりました。

60万人目は、札幌市の小学1年生、阿部真大くん。母親の由美子さんと弟、さらに北見市の親類合わせて5人で水泳の練習に訪れました。

真大くんと由美子さんは「ホームページで見てきれいだったので来たけれど、まさか60万人目とは」と驚くとともに喜んでいました。

訓小スクールバンド全道大会に出場 訓中ソフトボール部全道大会を報告

8月4日に北見市で開かれた第58回北海道吹奏楽コンクール北見地区予選で、訓子府小学校スクールバンドが金賞に輝くとともに9月8日に札幌市で開かれる北海道大会への出場権を獲得しました。



訓小スクールバンド



訓中ソフトボール部

また、8月2日から4日まで札幌市で開かれた中体連の第41回北海道中学校ソフトボール大会に出場した訓子府中学校ソフトボール部は、残念ながら1回戦で敗れましたが、「良い経験、今後につなげる」と話していました。



ウオッチング



訓子府町へようこそ



高知県の農業高校生も来町 大規模農業を体験

高知県の農業高校生が今年も8月20日に来町しました。北見地方1市3町で毎年受け入れていますが、今年訓子府町には高知農業高校生と幡多農業高校生の男子2人、女子4人が訪れました。公民館で歓迎式が行われ、「北海道農業を肌で感じたい」と抱負を話していました。6人は、27日まで町内の酪農家、畑作農家で大規模農業などを実際に体験。6人ともに広い畑などに驚きながら、実習に励んでいました。

姉妹町・津野町から交換留学生

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から小学生4人の交換留学生が8月19日に来町しました。来町したのは、川西那桜さん、戸田優香さん、高橋奈甫さん、河野悠介くんで、いずれも中央小学校の6年生と教頭の小橋匠さん。河野くんが居小、ほかの3人は訓小に通学しました。

19日の歓迎式では、訓小、居小の校長から教科書が手渡され、ホームステイ先となる、訓子府の4家族と対面。暑さの厳しい津野町から来た児童たちは「訓子府町は涼しいな」などと驚きながらも、勉強や遊びを通じて交流を深め、たくさんの友達をつくり、26日に離町しました。

小学生4人がホームステイし通学

交換留学生歓迎セレモニー



盆踊り

日出地域盆踊りが8月14日に日ノ出地区ふれあいセンターで、豊年盆踊りが8月15日に仲町公共駐車場で、それぞれ行われました。太鼓の音が響き渡る中、子どもたちは浴衣姿で一生懸命に踊り、大人の仮装盆踊りでは、手作りの衣装で踊りが披露されました。地元や帰省している大勢の見物客は、訓子府の短い夏を満喫していました。



豊年盆踊り



日出地域盆踊り

仮装などで 行く夏を惜しむ